

# 平成 26 年度事業報告

## ◇ 平成 26 年度 支部・登録チーム数

支部数 47、末端支部数 984

・一般(社会人)… 31,869 チーム  
 ・少年部(中学生)… 8,145 チーム  
 ・学童部(小学生)… 12,663 チーム

} 52,677 チーム

加盟団体 5

・大学協会 493 校  
 ・専門学校 172 校  
 ・還暦連盟 449 チーム  
 ・中体連 ※少年部登録数に含む  
 ・女子軟式連盟 91 チーム

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
北海道	1,647	497	849	2,993
青 森	163	132	235	530
岩 手	408	153	220	781
宮 城	329	186	298	813
秋 田	297	20	190	507
山 形	100	95	146	341
福 島	486	297	74	857
茨 城	469	226	247	942
栃 木	1,005	155	304	1,464
群 馬	932	174	261	1,367
埼 玉	901	448	606	1,955
千 葉	941	421	538	1,900
東 京	3,657	907	1,154	5,718
神奈川	2,103	441	824	3,368
山 梨	105	90	120	315
新 潟	358	225	278	861
長 野	750	148	190	1,088
富 山	380	77	152	609
石 川	204	83	142	429
福 井	184	64	119	367
静 岡	797	232	283	1,312
愛 知	3,005	340	760	4,105
三 重	341	146	156	643
岐 阜	1,135	212	465	1,812

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
滋 賀	170	99	162	431
京 都	664	45	262	971
大 阪	3,000	34	353	3,387
兵 庫	1,422	344	415	2,181
奈 良	260	88	149	497
和歌山	115	93	267	475
鳥 取	180	60	140	380
島 根	155	65	107	327
岡 山	270	52	129	451
広 島	853	69	157	1,079
山 口	430	20	131	581
香 川	241	65	103	409
徳 島	142	64	119	325
愛 媛	292	105	58	455
高 知	214	75	74	363
福 岡	649	234	314	1,197
佐 賀	258	83	141	482
長 崎	153	130	60	343
熊 本	297	159	200	656
大 分	299	110	206	615
宮 崎	202	112	136	450
鹿 児 島	366	164	97	627
沖 縄	540	106	272	918
合 計	<b>31,869</b>	<b>8,145</b>	<b>12,663</b>	<b>52,677</b>
前年比	-1,472	-133	-628	-2,233

# 第1号議案 平成26年度事業報告

## I. (公1) 軟式野球大会開催事業

### ア. 軟式野球大会開催事業

#### 1. 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第69回 全日本軟式野球大会	9月12日(金) ～17日(水)	松山市他	57	京都府・SECカーボン(株)
高松宮賜杯第58回 全日本軟式野球大会	1部 10月3日(金) ～6日(月)	碧南市他	32	東京都・T-Five
	2部 9月26日(金) ～29日(月)	京都市他	32	開催地・佐川印刷(株)BFチーム
高円宮賜杯第34回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月8日(金) ～14日(木)	新宿区他	51	愛媛県・和気軟式野球クラブ
第31回全日本少年軟式野球大会	8月10日(日) ～14日(木)	横浜スタジアム	16	長崎県・波佐見町立波佐見中学校
文部科学大臣杯第5回 全日本少年春季軟式野球大会	3月21日(金) ～24日(月)	静岡市他	32	神奈川県・川崎市立西中原中学校
第69回国民体育大会 (長崎がんばらんば国体)	成年男子 10月17日(金) ～21日(火)	佐世保市他	32	埼玉県・旭鋼管工業株式会社
第36回 東日本軟式野球大会	1部 6月13日(金) ～16日(月)	富山市他	28	開催地・JANAのはな
	2部 5月23日(金) ～26日(月)	美濃加茂市他	28	石川県・レダースポーツBC
第36回 西日本軟式野球大会	1部 5月16日(金) ～19日(月)	上富田町他	26	高知県・ハカタ貨物
	2部 7月4日(金) ～7日(月)	山口市他	26	香川県・西岡クラブ
水戸市長旗 第22回東日本軟式野球選手権大会	10月31日(金) ～11月4日(火)	水戸市他	28	愛知県・佐川急便中京
第18回 西日本軟式野球選手権大会	11月14日(金) ～17日(月)	倉敷市他	27	奈良県・佐藤薬品工業株式会社
第59回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月7日(金) ～10日(月)	岡崎市	13	愛知県・株式会社ニデック
日本スポーツマスターズ2014	9月19日(金) ～22日(月)	さいたま市	32	静岡県・チーム静岡
NPBガールズトーナメント2014	8月11日(月) ～16日(土)	昭島市他	36	徳島県・徳島県選抜
第36回 全国中学校軟式野球大会	8月17日(日) ～20日(水)	鳴門市他	25	宮城県・仙台育英学園秀光中等教育学校
第36回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月8日(金) ～11日(月)	旭川市	16	愛知県・フューチャー・イズム少年団 大分県・別府鶴見小中学校少年団 ※同点優勝

## 国体総合成績（天皇杯得点）

1位	埼玉県	74点	5位	千葉県	42点
2位	宮崎県	66点	6位	大阪府	34点
3位	北海道	58点	7位	岐阜県	26点
4位	長崎県	50点	8位	和歌山県	18点

## 2. 寄付金関係

以下のとおり、各団体、企業より寄付を受けた。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| (1) (公財)日本高野連・朝日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (2) (公財)日本高野連・毎日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (3) 株式会社 エス・エス・ケイ   | 1,500,000 円 |
| (4) ヤング(株)          | 300,000 円   |
| (5) 株式会社共同写真企画      | 1,000,000 円 |

## 3. 助成金関係

以下のとおり、各団体より助成金の交付を受けた。

- |   |             |                 |
|---|-------------|-----------------|
| (1) 国体派遣役員旅費                              | 1,120,640 円 | 日体協             |
| (2) 選手強化事業交付金（平成25年度分）                    | 500,000 円   | JOC             |
| (3) 少年野球振興事業助成                            | 1,000,000 円 | (公財)ミズノスポーツ振興財団 |
| (4) スポーツ普及奨励助成事業                          | 700,000 円   | (公財)スポーツ安全協会    |
| (5) スポーツ振興くじ助成<br>（指導者講習会事業及びドレーピング検査事業分） | 2,945,000 円 | (独)日本スポーツ振興センター |

## 4. 協賛金関係

以下のとおり、各団体、企業より協賛を受けた。（金額は税込表示）

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルドカップ大会を実施した支部への助成金として、総額 52,500,000 円の協賛を受けた。
- (2) J X 日鉱日石エネルギー(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への助成金として総額 21,600,000 円の協賛を受けた。
- (3) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、総額 1,701,000 円の協賛を受けた。
- (4) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より 1,000,000 円の協賛を受けた。

- (5) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
- (6) (株)アシックスジャパンより全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
- (7) (一社) 日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し 540,000 円、「ガールズトーナメント 2014」への協力に対し 6,696,000 円、「NPB オールスターゲーム」への広報活動協力に対し 540,000 円の協賛を受けた。
- (8) 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

## 5. 協賛金交付

- (1) 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 13,466,200 円交付した。
- (2) マクドナルド・カップ大会を実施した 25 支部に対し、総額 2,500,000 円を交付した。
- (3) 47 支部に対して ENEOS 協賛金を総額 6,172,700 円交付した。
- (4) 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を 300,000 円交付した。
- (5) ろうきん杯を実施した 5 支部に対し、総額 1,550,000 円を交付した。

## 6. ドーピング検査の実施

第 69 回国民体育大会、天皇賜杯第 69 回大会及び水戸市長旗第 22 回東日本選手権大会にて競技会検査を実施した。

国体では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

国体全競技では、競技会検査（197 検体・23 競技）が実施され、すべて陰性であった。

天皇賜杯では、4 チームより 2 検体ずつ計 8 検体の検査を実施し、全て陰性であった。

また、水戸市長旗東日本選手権大会では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

※競技会検査：大会会期中に実施する検査

## 7. メディカルサポートの実施

高円宮賜杯第 34 回全日本学童軟式野球大会準々決勝進出 8 チーム、準決勝進出 4 チームに対して理学療法士延べ 18 名、及び第 31 回全日本少年軟式野球大会の準々決勝進出 8 チームに対し理学療法士 6 名をそれぞれ派遣し、試合後、選手へのクールダウンの指導、投手へのアイシングの指導などのメディカルサポートを実施した。

## イ. 審判員等養成事業

### 1. 全国技術指導員研修会及び全国技術研修員講習会の実施

下表のとおり、事業を実施した。

名 称	期 日	場 所	参 加 者		修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月29日(土)～2日間	北海道・札幌市	審判技術指導員	15名	
関東地区 技術指導員研修会	3月1日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	28名	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月1日(土)～2日間	愛知県・名古屋市	審判技術指導員	31名	
近畿・中国・四国・九州地区 技術指導員研修会	3月1日(土)～2日間	岡山県・倉敷市	審判技術指導員	69名	
技術研修員講習会	2月21日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	28名	9名

### 2. ブロック審判講習会の実施

下表のとおり事業を実施した。

ブロック	会期	会場	受講者
北海道	8月29日～3日間	北海道・旭川市	28名
東北	3月21日～3日間	福島県・福島市	42名
関東	3月21日～3日間	茨城県・水戸市	42名
北信越	10月10日～3日間	長野県・大町市	28名
東海	11月15日～3日間	静岡県・島田市	35名
近畿	11月21日～3日間	奈良県・橿原市	39名
中国	3月28日～3日間	島根県・出雲市	37名
四国	10月11日～3日間	香川県・高松市	16名
九州	3月21日～3日間	宮崎県・宮崎市	17名
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名（一般登録2千以上） 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名（一般登録1千以上） 他各3名		

## ウ. 公式軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

### 1. 競技者必携

支部その他に、72,417部を有償、無償で57部を頒布した。

### 2. 公認野球規則

支部、その他に50,474部を有償、無償で26部を頒布した。

## II. (公2) 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

### ア. 各種軟式野球大会普及促進助成事業

#### 1. 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として各団体に対し総額 3,650,000 円を交付した。

全日本大学軟式野球協会	1,000,000 円
公益財団法人日本高等学校野球連盟	1,000,000 円
全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟	500,000 円
全日本ろう社会人野球連盟	200,000 円
全国官公庁野球連盟	100,000 円
全日本女子軟式野球連盟	250,000 円
全国専門学校野球連盟	250,000 円
全日本還暦野球連盟	250,000 円
アオダモ資源育成の会他	500,000 円

#### 2. 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 26 事業を後援した。

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、  
全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (公社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- (14) (一財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (15) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (16) 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- (17) 全日本トススペースボール大会
- (18) 全国官公庁野球大会

- (19) 全国中学生 KB 野球選手権大会、全国女子 KB 野球選手権大会、  
全国中学生 KB 秋季大会
- (20) 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- (21) ダイワハウス全国少年少女野球教室
- (22) マルハンドリームカップ全国ベースボールトーナメント
- (23) 全国ガス野球大会
- (24) ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- (25) がんばれふくしま・WCBF 少年野球教室
- (26) 阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会 2014

## イ. スポーツ指導者養成事業

### 1. 日本体育協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

11月1日（土）～11月5日（水）の5日間の日程により、静岡県伊豆市にて受講生21名を集め、実施し、無事に全日程を終了した。

### 2. 助成金

日体協より、スポーツ指導者養成事業交付金（H25年度分）として63,000円、公認コーチ養成専門科目講習会委託金（H25年度分）1,034,720円の助成を受けた。

### 3. 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会として、チーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施した。

ブロック	開催地	日程	会場
北海道	旭川	2月16日（日）	JA北海道厚生連旭川厚生病院別館講堂
東北	仙台	2月16日（日）	宮城自治労会館
関東	埼玉	2月15日（土） 大雪のため中止	さいたま市七里コミュニティセンター
北信越	福井	2月2日（日）	福井県立青少年センター
東海	静岡	2月2日（日）	静岡市民文化会館
近畿	滋賀	1月26日（日）	ひこね市文化プラザ
近畿	大阪	3月31日（日）	大阪市立港区民ホール
四国	愛媛	2月8日（土）	テクノプラザ愛媛テクノホール
中国	岡山	2013年終了済み	きびじアリーナ
九州	熊本	2013年終了済み	グランメッセ熊本



## ウ. 広報活動事業

### 1. 連盟ホームページの活用

例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

### 2. 学童向け広報誌の発行

ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童向けの広報誌を 1 回発行、各都道府県支部の協力のもと、学童登録チームへ配布を行った。

### 3. Facebook による情報発信を開始

7 月より公式 Facebook の運用をスタート。組み合わせ抽選会、大会等、これまで以上に迅速な情報発信を行った。

## Ⅲ. (収 1) 野球用具検定事業

### 1. 用具公認社の新規公認について

美津和タイガー株式会社（ヘルメット、マスク、プロテクター・レガース）を新規に公認社として承認し、契約を締結した。

### 2. 公認用具の普及

全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球 10 ダースを提供した。

## Ⅳ. (収 2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の 1 階、2 階、5 階スペースを賃貸。  
賃貸料等収入 17,375,424 円

## Ⅴ. (収 3) 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。  
制定物品販売高収入 4,661,155 円

## VI. その他連盟が推進する事業・活動

### 1. 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より 9 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成 26 年 12 月末までの復帰者総計 9 名。(40 歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
497	茨城	財前 貴男	読売ジャイアンツ
498	和歌山	舟木 幸広	千葉ロッテマリーンズ
499	神奈川	曲尾 マイケ	ヤクルトスワローズ
500	神奈川	広澤 克実	阪神タイガース
501	神奈川	福盛 和男	東北楽天ゴールデンイーグルス
502	兵庫	黒田 祐輔	阪神タイガース
503	香川	岡本 秀寛	ヤクルトスワローズ
504	兵庫	松本 幸大	オリックスバファローズ
505	愛知	柴田 亮輔	福岡ソフトバンクホークス

### 2. 表彰関係

#### (1) 表彰委員会規程による表彰

26 年度の功労者（15 名）の皆様を本評議員会の席上にて表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	横溝 眞徳(北海道)
東北	2	土田 良雄(山形)・齋藤 和夫(福島)
関東	2	今泉 正義(栃木)・向山 敏宏(山梨)
北信越	1	宮坂 進(長野)
東海	1	富谷 道生(三重)
近畿	2	田中 行雄(滋賀)・下川 俊樹(和歌山)
中国	2	海野 力雄(岡山)・北川 豊彦(広島)
四国	2	井上 俊一(徳島)・鈴木 康夫(高知)
九州	2	鎌田 澄夫(福岡)・福永 宏(鹿児島)
計	15	

#### (2) 読売新聞社主催 平成 26 年度第 64 回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …………… SECカーボン(株) (京都府)

#### (3) 旭日双光章 …………… 枝川 憲寿 顧問

### 3. 第8回 BFA12U アジア選手権 日本代表チーム派遣

BFJ と NPB が組織し、推進している侍ジャパン事業の一つとして12歳以下(12U)のアジア選手権大会へチーム派遣を行った。

野球日本代表の共通事項として、単独チームでの参加ではなく、全国からの選抜チームを編成して参加するため、今回は、初めてデジタルトライアウトを実施。支部からの推薦枠、およびそれ以外の登録チームからの一般公募枠を設けて、選手のプロフィールと投稿動画をもとにメンバーを選考委員会で選出。15名の日本代表チームを編成した。競技結果は、第2位ということとなったが、仁志敏久監督(元巨人)の指導の下、全国から選ばれた選手たちは、国際大会での野球の違いに触れ、また、他国の選手たちのプレーを直接目にし、今後の野球人生において貴重な遠征となった。また、全国から、選手を選出するという今回の試みは、課題はあるものの今後の学童野球の普及・振興に新たな方向を打ち出す結果となった。

主催 アジア野球連盟(BFA) フィリピン アマチュア野球協会(PABA)  
会期 8月27日(水)～8月31日(日)  
参加チーム数 日本、チャイニーズ台北、韓国、シンガポール、フィリピン、インドネシア(6チーム)  
会場 リザール記念野球場(マニラ)  
団長 中村敏治(全軟連・常務理事)  
監督 仁志敏久(野球評論家・元巨人ほか)  
コーチ 高橋孝行(福井・鳥羽野球部監督)  
西尾大安(兵庫・曾根青龍野球部監督)  
審判員 横溝直樹(全軟連・理事、技術委員長)  
事務局 長久保由治(全軟連 事務局長)  
チームスタッフ 加藤 謙次郎、前沢 賢(NPB)

#### 大会試合結果

優勝	中華台北	5勝0敗
準優勝	日本	4勝1敗
3位	韓国	3勝2敗
4位	フィリピン	2勝3敗
5位	インドネシア	1勝4敗
6位	シンガポール	0勝5敗

なお、遠征費用については、団長、事務局の国内移動費、渡航費、滞在費を全軟連で負担。監督コーチ、出場選手の渡航費はBFJが負担し、滞りに係る経費はホスト国が負担した。

#### 4. 全日本野球協会への審判員登録について

全日本野球協会に加盟しているアマチュア4団体が推進している審判制度改革の一つの大きな柱として、26年度は審判員登録業務に事業協力を行なった。

全軟連からは47支部より、総数27,045名（男性26,994名、女性51名）が、全軟連を通じて登録を行なった。

#### 5. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部の協力により集まった用具を主に JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プログラムへ参加する形で、ボール、バット、グラブ、ミット、キャッチャー用具、ヘルメット、ユニフォームを寄贈した。寄贈国は、スリランカ、フィリピン、モルデイク、フィジー、アルゼンチン、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、ブラジル、ペルー、キルギス、ジンバブエ、タンザニアの14カ国とした。

2020年東京オリンピック開催に向けた文部科学省、外務省の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムの振興により、野球を含む JICA スポーツ隊員の派遣が増加しており、野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に JICA とも情報共有し、野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。